



中央工学校

■■ 建築懇談会 ■■

10周年記念冊子



中央工学校校歌

一、風薫る 飛鳥の森よ
 雲映ゆる 校舎の窓よ
 あい学ぶ 若き心に
 向学の虹は かかれり
 羽ばたくは 技術のつばさ
 空晴れて 日射しは和む
 おお光あり 中央工学校

小俣幸太郎 作詞
 松下哲 作曲

二、勤勞の 汗はかがやき
 建設の 音はこだます
 あい学ぶ 若き姿に
 躍進の意気はあがり
 満ちくるは 文化の潮
 智と徳の 波濤は高し
 おお力あり 中央工学校

三、希望あり 朝はさやけく
 理想あり 夜のともしび
 あい学ぶ 若き生命に
 青春の血潮燃えたつ
 高鳴るは 明日への鼓動
 伝統を 受け継ぐわれら
 おお誇あり 中央工学校

■第8回：平成20年1月12日（土）

○卒業生幹事による受付



○卒業生スピーチ：関 洋 さん



○学校近況報告



○懇親会



■第9回：平成21年1月31日（土）

○卒業生幹事による受付



○新校舎・新施設見学会



○校長挨拶：堀口 一秀 先生



○懇親会



■10回目を迎える建築懇談会

建築懇談会 会長 松田 正之

建築懇談会を引き継いで10年、早いものです。引き継いだときの建築懇談会は、勉強会的組織でした。当初は熱心に盛り上がっていた会ですが、いつしか人数も少なくなり、解散も視野に入れてのバトンタッチだったように思います。どうしたらこの会を立ち直らせることができるのか、随分悩んだ結果でしたが、卒業生と教員が継続的に再会できる場として原点に戻って再スタートをしました。

建築懇談会は、一年に一度の総会があるだけの組織です。会員資格は中央工学校建築系学科卒業生全員。会則も今のところありません。良かれと思ってのリニューアルでしたが、抱えている問題もいくつかあります。どんな組織もそうですが、回を重ねるたびに継続させることの難しさに直面しています。挫けそうになることも多くありましたが、事務局をはじめ教員室の皆さんが支えてくれました。30年前の私自身の同級生達を始め、毎回必ず参加して下さっている方々、そして退職した建築教員室の仲間達、皆さんにお礼を申し上げます。

皆さんの母校は永遠に継続するものであり、揺ぎ無い存在として常に皆さんとともにあります。そしていつでも皆さんをお迎えしています。100周年を迎えた中央工学校、10回目を迎える建築懇談会、これからもどうぞよろしく御願いたします。



■建築懇談会 創立10周年を迎えて

中央工学校 同窓会会長 中野 栄吉

中央工学校同窓会建築懇談会が創立10周年を迎える事になり心からお喜びを申し上げます。我が校の同窓会組織の中で、一番会員の多いのが建築懇談会です。

毎年、年の始めに開かれる、建築懇談会主催の研修並びに懇親会は、毎回多くの会員の参加があり、同窓会が行う集会として、動員数の多いことでも同窓会支部第一です。

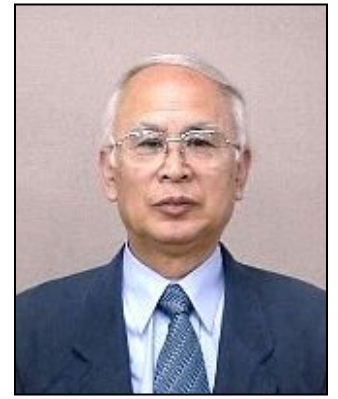
このような成果が上げられるのも、懇談会会長である松田先生のご指導とご協力が有ればの事です。松田先生のご努力に心から敬意を表します。

わが校は去る10月、創立100周年記念行事を盛大に挙行政致しましたが、次の百年に向かって、同窓会として新しい時代をどの様に行動するかを考えて見たとき、同窓会革新の必要性を強く感じます。

同窓会組織が、単なる親睦団体だけではなく、卒業生同士の相互研鑽、卒業生の在校生に対する情報の発信などを主とする研修組織で有らねばならないと思います。

そのために同窓会主催の講演会、ワークショップなどが同窓会行動の柱とならなければなりません。

このためにも、同窓会組織である建築懇談会の活動を強く期待するものです。建築懇談会の更なるご発展を祈念し、創立10周年をお祝いする言葉と致します。



■建築懇談会 10年の節目を迎えて

中央工学校 校長 堀口 一秀

建築懇談会は、昭和63年5月に建築系の卒業生の情報交換と研修を目的に発足し、年間5回程度の集まりは、和やかな中にも緊張感のある充実した内容であったことを懐かしく思い出します。しかし、時の経過と共に参加者の固定化と減少、講演者の人選等が悩みとなり、活動は低下し解散も検討されました。当時責任者として自責の念に駆られました。平成12年度の学校組織改編に合わせ、同窓会の一支部として建築懇談会を一新し再出発することとなりました。松田正之会長の努力のもと今日に継続され、中央工学校創立100周年に合わせ、10年の節目を迎えられたことは大変に意義のあることです。「継続は力なり」と申しますが、自らが動かなければ何事もできません。何もしなければ誰も動いてくれません。何か一つ自分のできごとで貢献してください。その積み重ねが建築懇談会を発展させ、今後も建築系卒業生のよりどころとして機能することを心から期待いたします。



■建築科卒業生との出会い

学校法人中央工学校 歴史館館長 原田 静男

建築懇談会の記念写真が歴史館に飾ってある。毎年新しいのと入れ替えているが、にこやかに集まっている様子がにじみ出ている。写真の数は、歴史を物語っている。

ところで、10年前先代から住んでいた品川の住居を建直した。関東大地震後の建築で、細街路の問題があったので改築時にはセットバックしなければならず躊躇していた。区役所建築課に出向いて相談したところ親切に対応してくれたのが本校建築科の卒業生であった。改築のプランが設計事務所の手で出来上がって、施工業者がT建設業者に決まった。施主として何回か打ち合わせをしているうちに、現場責任者Sさんから「私は中央工学校の建築を出ました」と自己紹介された。地鎮祭・根切り・基礎コンの打設と工事が進むたびに現場に出向いた。工事の説明を聞きながら、夜王子校舎に通った思い出をSさんから聞いた。授業は厳しかったが、いま役に立っていると話しておられた。最近実妹が自宅を改築しようとしたところ、中央工学校の建築の卒業生が打ち合わせに来られたとのこと、建築科卒業生との縁は深くなるばかりである。



■第6回：平成18年1月14日（土）

○卒業生幹事による受付



○在校生優秀作品プレゼンテーション



○理事長挨拶：大森 厚 先生



○懇親会



■第7回：平成19年1月13日（土）

○卒業生幹事による受付



○卒業生スピーチ：佐々木 真一 さん



○卒業生アンケート実施報告



○懇親会



■第1回：平成13年1月20日（土）

○役員紹介



○懇親会



■第2回：平成14年1月19日（土）

○会長挨拶：松田 正之 先生



○卒業生近況報告



■第4回：平成16年1月17日（土）

○学校近況報告



○卒業生近況報告



■第5回：平成17年1月15日（土）

○校長挨拶：須郷 進 先生（前校長）



○在校生優秀作品プレゼンテーション



■建築懇談会 10周年に向けて

松井 満さん（建築設計科 昭和53年3月卒業）

卒業して、中央工学校には16年間教職員としてお世話になったのですが、建築構造研究室（16号館3階にあった）にいたときに、建築構造懇談会という名で建築系教職員および卒業生でセミナー形式の寄り合いを始めたのを思い出しました。構造系の話ばかりではなく、卒業生の実務や経験に関する話だとか結構ためになるというかおもしろ・おかしく聞いていました。この建築構造懇談会が今の建築懇談会の前身であったのかはわかりませんが、自分が準備・企画の担当になったときには、大変だったことも思い出されました。

今年で建築懇談会も10周年を迎えるとのこと、時がたつのはあっという間ですが年一度とはいえ企画・準備するには大変な労力と時間がかかります。

改めて会長さんをはじめスタッフの方にはお礼を申し上げますと同時に会員の皆様方の健康とますますの発展をお祈りいたします。

■皆勤出来るか?! 建築懇談会!

小幡 憲太郎さん（建築設計科 平成11年3月卒業）

1月第3土曜日。この日は建築懇談会であり、私にとっては代え難い日です。それは出席する事で、感化されて己の向上を計る機会に成っているからです。これは建築懇談会で培い、学生時代には無かった想いです。皆様も、学生時代は建築の勉強をして、課題に追われ、二年間という歳月は矢の様に過ぎ去り、仲間はあるけど学校自体の記憶は・・・。

私はそうでした。そんな学生だった私が現在の様な感情を抱いているのは、建築懇談会に参加した際に中央工学校の歴史や、諸先輩方達の活躍、同期の近況等を知る事が出来たからです。

母校は、創立100周年を迎え、建築懇談会第10回目を数えるまでになりました。そんな中にも関わらず私は、この度の建築懇談会を欠席するかもしれない状況になっています。不覚にも只今、交通事故の影響で左半身七カ所の骨折を負い、1ヶ月と少し入院している身です。そんな経緯ですが、命拾ったこの身は日に日に回復し、退院が間に合えば出席する所存で、10回目の出席を目指しリハビリに取り組み、この建築懇談会への思いを綴っております。会場にて松葉杖をついた人間を見たら、それは私です。是非、お声をかけてください。

建築懇談会、第10回目。おめでとう御座います。

■建築懇談会 10周年を迎えて

森 輝人さん（建築工学科 平成12年3月卒業）

私が建築工学科を卒業したのが2000年の3月であり、建築懇談会と同じ10年が経ちます。当時を思い出すと、私の3年間の在学中は人より恵まれていたと感じています。それは3年間お世話になった『担任の先生』に出会えたことです。その先生の最初の印象はとても厳しい先生でした。実際、本当に厳しい先生で、なぜか私ばかりに駄目出しの厳しい言葉をかけてきました。しかし、私はその厳しい言葉の裏に先生からのエールが隠されている事に気づき、卒業するまでに先生を見返したいと頑張りました。先生も就職活動のときは、なかなか決まらず悩んでいた私に求人案内を持参して、親身になって勧めてくれました。

その中でも一番先生に出会えて良かったと思ったことは、先生を通じて多くの方々に出会えたことです。在学中の仲間はもちろん、卒業して建築懇談会で再会した同期の仲間、先輩方、後輩達、みんな先生のおかげで知り合うことができました。この懇談会がなければ知り合えなかった方々と、このような輪が広がったことで、私の人生にとって多くのことがプラスになっていると感じています。そして、この建築懇談会に誘っていただいた先生にも感謝の気持ちで一杯です。改めて『先生、ありがとう!』

10周年を迎えた中央工学校建築懇談会を昨今の不況の中、参加者みんなで手を取り合って盛り上げ、今後もこの建築懇談会が続くことを願いつつ、私もできることは協力したいと思います。

■第6回建築懇談会集合写真・・・・・・・・平成18年1月14日(土)



■第8回建築懇談会集合写真・・・・・・・・平成20年1月12日(土)



■第7回建築懇談会集合写真・・・・・・・・平成19年1月13日(土)



■第9回建築懇談会集合写真・・・・・・・・平成21年1月31日(土)

